

発行所：岐阜市長良西後町
岐阜県立長良高等学校 同窓会
TEL（058）231-1186
印　刷：（有）プリンテックス

情報満載!!
同窓会ホームページ
長良高校同窓会　検索
http://www.nagara-dousoukai.net/

受け継がれる伝統

――同窓会長　辻　慶一（24期）



長良高等学校同窓会第十代会長二十四期生の辻　慶一でございます。

日頃から皆様方には、同窓会の運営に対しましてご理解、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年の同窓会総会・懇親会は、「誇りと絆を永遠に！」をテーマに開催され、前回に引き続き参加者が五〇〇人を超え、大いに盛り上がりました。三十五期のメインホストの皆さん、そして、サブホスト・サポートホストの皆さん、本当にありがとうございました。

昨年も書きましたが、諸先輩が築いてこられた同窓会の歴史と母校の伝統が、新しい世代に受け継がれ、益々広がっている事を更に深く感じました。

さて、本年度の総会・懇親会は、メインホストの三十六期の方が中心になり、サブホスト期及びサポートホスト期の方々と共に『長良高スピリットをもう一度！』をテーマに企画してくれています。副題として「良くも悪くも自由で緩く中途半端。しかしやる時は楽しんでやり切る！」この長良高の良さ？でもある校風を皆さんと確認し合い、勇気と元気をもらえる懇親会を目指し、頑張ってくれています。

今回も多数ご参加いただき、同窓会の基本方針である「同窓生の世代を超えたコミュニケーションを図り、同窓生の輪を広げる」に則って、あらゆる方面で活躍されている方々が、世代を越えてジョイントしていただけていることを大いに期待しております。

高校生活は、三年間とほとんどが短い期間でしたが、その間に育まれた友情は永遠です。私共、執行部も同窓会の更なる発展と皆様の友情がより確かなものになりますよう全力を傾けておりますので、引き続いてのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

来たる六月二十一日の同窓会には、多くの皆様と親しくお会いできる事を祈念いたしまして、同窓会長の挨拶とさせていただきます。

『校訓の具現化と継承』

――学校長　鈴木　賢治（26期）



春風若葉に薫る季節となりました。同窓の皆様には、平素から母校の教育活動につきまして、格別の御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。平成二十七年度におきましても、昨年度同様、御指導、御鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

まずは、母校の近況について、ご報告いたします。この三月には、第六十六期生が卒業し、卒業生の総数は二万七千四百名余りとなりました。また、四月には第六十九期生となる一年生が入学し、各学年十クラス、男子六百五十二名、女子五百四十九名、総計千二百一名の生徒が、保護者・地域・同窓の皆様から温かいご支援・ご協力をいただき、勉強、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等に励んでいます。平成二十六年度の進路状況は、現役と既卒者を合わせた延べ数で四年制大学に九百七十七名（うち国公立八十九名）、短大や専門学校等に七十五名が合格を果たし、それぞれの進路先で勉学に励んでいます。部活動においては、陸上競技部、女子バドミントン部、文芸部、放送部、写真・科学部がインターハイや全国規模の大会・コンクール等に出場し活躍しました。さらに、女子バレーボール部、剣道部、ソフトテニス部、水泳部、卓球部、コーラス部が東海大会や中部大会に出場し、日ごろの成果を発揮しました。また、英語教育において、岐阜県英語教育イノベーション戦略事業「英語拠点校区事業」の指定を受け、近隣の小中学校と連携した授業研究に取り組んでいるところです。

さて、昨年の六月十五日に開催されました「同窓会総会・懇親会」では、メイン幹事である第三十五期の皆様のご尽力により、大変多くの皆様にご参加いただきました。二十六期生である私より先輩の皆様の参加も多く、いつもながらの饗鑁としたお姿、張りのある大きな声、力強いお言葉、旺盛な食欲等に、「開拓者魂」の一端を窺い知ることができました。諸先輩からの母校や在校生への熱い叱咤激励をいただき、「開拓者の気魄で勉学とスポーツにあたれ」、「礼儀正しくあれ」の校訓のさらなる具現化と継承に努めなければならないと意を強くした次第であります。今年は、六月二十一日に「同窓会総会・懇親会」が、さらに十一月二十三日に「関東支部総会・懇親会」が予定されています。多くの同窓の皆様と恩師の先生方にお会いできることを楽しみにしております。

結びにあたり、若い卒業生が、先輩の皆様にどこかでお世話になることがあると思います。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

会費納入のご協力をお願いします

●趣　旨
この「ながれ」は長良高校同窓生二万七千四百余名（住所不明者除く）に送付されています。その費用として毎年送料を含め二百六十万円程必要になります。現在の納入状況では全員への送付が不可能になりますので、どうか、お一人千円以上の会費を納入してください。

●金　額
千円以上（一口千円を一口以上）でお願いします。

◆納入方法
「ながれ」に同封する郵便局の振込用紙にて納入して下さい。

平成26年度会費納入状況

期	口数	期	口数	期	口数	期	口数
1	11	18	48	35	277	52	12
2	43	19	62	36	68	53	5
3	34	20	56	37	31	54	0
4	62	21	41	38	22	55	4
5	53	22	43	39	6	56	4
6	51	23	35	40	12	57	3
7	52	24	90	41	10	58	12
8	65	25	117	42	13	59	8
9	73	26	70	43	2	60	7
10	48	27	33	44	4	61	8
11	80	28	68	45	7	62	1
12	68	29	35	46	3	63	4
13	32	30	60	47	2	64	8
14	42	31	24	48	1	65	11
15	42	32	69	49	1	その他	6
16	29	33	83	50	4	合計	2399
17	45	34	73	51	6	H27.3.31現在	

平成27年度 長良高校同窓会 総会・懇親会

今年度は卒業30年目の36期がメインホストとして長良高校同窓会懇親会を運営させて頂きます。

今年度のスローガンは**「長良高スピリットをもう一度」**です！

長良高生は、良くも悪くも自由で緩く中途半端。しかしやる時は楽しんでやり切る！ そんな明るく楽しい長良高校が大好きです。

卒業からそれぞれ時を重ねる中で、そんな心持ちが大事な事を再度思い出し、恩師・諸先輩・後輩とスピリットを確認し合い勇気・元気を貰い、またそれぞれ歩んでいく。そんな会に出来たら良いとの思いを込めました。

36期の実行委員会メンバー約40名が1年以上前から委員会を十数回開催しながら、より楽しく参加者の皆様に喜んで頂けるよう頑張って参りました。30年ぶりに会うメンバーも多くいましたが、改めて素敵な奴らだな～と長良高スピリットを感じる事も出来ました。幅広い期の方々に喜んで頂けるよう様々な趣向を凝らしております。長良高スピリットを感じに是非お越しください！

皆様のご参加をお待ちいたしております。

メインホスト36期　懇親会実行委員長　山田 秀孝

当日は、お世話になった先生方にもご案内をしております。

■日　時；平成27年6月21日（日）
受　　付／11:00～
総会･懇親会／12:00～15:00

■場　所；岐阜グランドホテル ロイヤルシアター（地下1階）
（岐阜市長良川畔　TEL. 058-233-1111）

■会　費；一　人 7,000円　学　生 4,000円

■申　込：6月6日（土）まで（お手数ですが、同封の振込用紙にてお願いします）
※35･37期のサブホストの皆さん、並びに6･16･26･46･56期のサポートホストの皆様のご協力よろしくお願いいたします。

同窓生対談

●平成二十七年三月十九日（木）
●中部事務機（株）於
●司会進行　福井雅一副会長（28期）



左より辻同窓会長、種市知左さん、福井副会長

■略歴
◆種市 知左（たねいち ちさ）
（旧姓 渡辺）
昭和60年2月生まれ
平成15年3月　長良高校卒業（54期生）
平成19年3月　岐阜大学地域科学部卒業
平成19年4月　全日本空輸（ANA）に入社

福井：本日の対談は全日空のキャビンアテンダント（以降CA）をされていて、現在一児の母親でもあります、五十四期の種市知左さんにおいで頂きました。今年度総会・懇親会のメインホスト三十六期生が「長良高スピリットをもう一度」のテーマの下、運営して頂くのですが、まず初めに、種市さんの高校時代を振り返ってお話頂けますか。

辻：高校時代は文系だよね。

種市：はい文系です。

福井：種市さんのお母さん・青木さんは私と同期生で、水泳部で東海大会に出場されたんですよ。

辻：あなたも何かスポーツとかやってみえたんですか。

種市：私はテニス部です。

福井：長良高校に入学した理由というのは。

種市：母がいい高校だから、もう長良って決まっていたので…。

辻：二代、三代続けて長良高校って多いんですよ。なぜかというと学区制の頃、伊奈波から北は長良高校へ行っていたんです。だからおじいさん、おばあさんが長良へ行って、自分も長良へ行くものと思っているわけ。その後、学校群制度になったでしょ、加納は美術科、音楽科があり、岐山は理数科があり、その中で長良は中途半端だけど、やる時は楽しんでやりきる明るく楽しい校風だったね。男女の仲も良かったよね。

福井：おかあさんがいいよって言ってた長良高校に入学してどうでしたか。

種市：今振り返っても高校の三年間は毎日が充実していました。長良高校は勉強も部活も頑張れる環境で、まずそこに感謝しています。部活があったのでテスト前一週間は詰め込んで睡眠三時間くらいで頑張って、その集中力と忍耐力、負けず嫌いなところは今も仕事に生かされています。でも、いつも勉強ばかりしているというわけじゃなくて、まさに勉学とスポーツにあたれでした。

辻：今でもその頃のお友達と交流はあるんですか。

種市：はい、長良の子は優しくて信頼ができます。先生方もみんな優しくて、校風、環境が良かったなと感謝しています。

福井：岐阜大学に進まれたその選択の理由は。

種市：文系だったんですけど、特に英語や国語が得意ということではなくて、得意なものがなかったので…。

辻：平均的に良かったんだ。

福井：会長の時もそうだと思いますが、隣に岐阜大学があって、長良高校から岐阜大学というのは多かったんですよ。

辻：ちょうど私たちの年代が六十歳で、この三月にみんな退官するんだけど、教育学部へ行って先生になり、校長になった同級生が何人もいますよ。

福井：実は種市さんのお母さんも教員になられて、そういった教員という夢はなかったんですか。

種市：自分の中ではなかったんです。

辻：学部は？

種市：地域科学部という、その頃できたばかりの学部です。

福井：街作り系のね、今ですと公務員やNPOで活躍されている方がいるんですけど、そんな中で全日空、一般に言うANAを選んだのは？

種市：夢というのはなかったんですけど、自分で将来どうしようと思って、資格を取っておこうと英語やパソコンを習ったり、大学以外の所で勉強していました。たまたま英会話に行った時にエアラインを薦められて、CAを目指す人達に影響されて、たまたまあった環境に感謝です。

福井：長良高校の友達や周りの人達の影響とかが生かされているんですね。

辻：でもめずらしいですよね。東京の大学行ってCAになる方は多いんでしょうが、岐大からはそんなにいないんじゃないですか。

種市：なので、進路の先生にはあまりなじみがなくて驚かれました。なかなか自分の人生でも東京へ行くという選択肢はなかったんで…。

辻：それもご縁だね。

種市：はい、今思えば。

辻：名古屋の英会話とか行ってたの？

種市：岐阜のECCです。（一同笑）
今回CAの後輩ということで、会長は率直にどう思われましたか？

辻：CAの仕事の内容について興味がありますね。

福井：CAのお仕事は実際どういうことをされるんですか？

辻：国際線？国内線？

種市：両方です。入社する前の二ヶ月ぐらいの訓練は、ほとんどは安全や保安に関すること、緊急時の火災とか減圧とか、緊急着陸の練習とか。あとは急病人とかの処置です。他にはシートベルトのチェックとか、日々の安全性の確認。飛行機もいろいろな種類があるので、ドアひとつでも操作が違うので、フライト前に確実な知識で臨むよう日々勉強しています。

辻：フライトする時にチームができるじゃないですか、あれって毎日違うんですか？

種市：はい、毎日違います。ほとんど個人プレーで、今日はチーフパーサーだけど、次の日は一番下とか。

辻：チーフパーサーになれるのは経験の多い人ですか？

種市：一応社内資格です。

福井：辻会長はお仕事で利用されると思うんですが、ANAの印象はどうですか？

辻：ホッとします。ヨーロッパとか行く時も、ANAだとすごく気が楽、安心。

福井：客室乗務員として、食事とかワインとかいろんな事を尋ねられると思いますが。

種市：三ヶ月に一回食事とワインが変わるので、そのワインの名前を覚えるのは大変です。このワインがどの食材に合うか学んで、お客様との会話に生かしています。

辻：ビジネスクラスとかファーストクラスでは割り当てとかあるんですか？

種市：社内資格で、ファーストは十年ぐらい働いてからしかできませんが、ビジネスの責任者までは担当します。

福井：CAから見た日本人のお客様の良さとかはどうですか？

種市：日本人はマナーが良いですね。日本人は控えめで丁寧でそれは日本人の良さなんですけど、ちょっと踏み込めなかったなというシーンもあったりして…、それに気づくのが私たちの仕事なんですが。

辻：なかなか言えないよね。

種市：特に男性はやってさしあげていいのか、こちらも考えながら、特に風邪の時とか言いにくいみたいですね。

辻：風邪ぎみで乗ると乾燥してて咳きが出るんですよ。夜中周りがみんな寝てると困るよね。

種市：そういう時はマスクとアメをお持ちします。（笑）

辻：仕事のシフトで不規則になるんじゃないですか？

福井：彼女は出産して一児のママになったんですが、ANAは産休とかどれ位取れるんですか？

種市：一年で、延長したら一年半ですね。

福井：CAは現役の女子生徒にとってあこがれの職業だと思うんですが、安心して仕事に就けて、また戻って来られるという働きやすい環境整備が大事ですね。

種市：人生で良かったと思える三年間になるように、パワーがみなぎっている時期なので、勉強とスポーツ、あと遊びも頑張って、やる時はやって頂きたいなと思います。

福井：そうすると夢が叶うと…。

種市：努力は必要ですし、運やタイミングも大事ですね。私は幸運にもここぞという時に周りの人が助けてくれたり、応援してくれました。母や先生方、友人にも感謝です。

辻：つらい努力じゃなくて、楽しく努力できるという環境を自分で作るということですね。

福井：最後に会長から種市さんへエールを。

辻：どこか旅行に行った時にお会いできればいいですね。子供を育てながら仕事をするというのは大変なんですが、キャリアを伸ばして、働いている姿をお子さんが見て、スゴイなと思うだろうし、その中で教育というものがあると思うんで。是非永く続けてもらって、子供もしっかり育ててもらって頂きたいです。私は子供ができたから退社したというのは勿体ないと思います。これからは女性は戦力ですから、永く第一線で活躍してほしいです。

福井：本日は種市知左さんをお招きし、対談して頂いて、辻会長の違った面も見させてもらって、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

◆フライトの例

1日目 沖縄往復
2日目 台湾往復
3～6日目 パリ
オフ2日
7日目 国内3便 国内ステイ
8日目 国内3便
9～10日目 サンフランシスコ

恩師からの熱い思い出

週末課題の思い出



葛西　正吉

長良高校に勤めた十年のうち昭和六十年入学生を取り上げることにします。この学年はベビーブームの世代で、全国の大学進学希望者が百万人を越えており、受験人口は拡大する一方でした。卒業まで英語を担当する者としては、特にこの学年向けの対応策を講ずる必要性を覚えました。しかし険しい情勢下でも力を付ければ可能性は膨らむものです。

英語という教科は受験の全てではむろんありませんが、文系理系を問わず広く課され、その学力醸成の成否は志願者の進路結果に少なからず影響を及ぼすと言ってよいでしょう。そこで投入したのが週末課題という学力強化策でした。彼らが一学年の時に一部クラスで試行、二学年時から全クラスに投入しました。学年の英語教員の連携を得て作成、生徒は宅習で取り組み、週明けに成果を提出しました。課題は毎週出され生徒からは辛いとの声も上がりましたが、宅習時間が増加し結果として外部実力テストや模試の成績を押し上げ支えてくれました。

この学年は総勢三百二十六名が共通一次試験を受けましたが、その英語平均点は初めての七割越え（一四四・九）となり全国平均も大幅にクリアしました。入試の結果は国公立大の場合では、旧帝大を含め百六十四名が現役合格（校誌『長良』三十二号）していきました。新記録だったのではないでしょうか。

後年になって西濃のある進学校に赴任したところ「週末課題」が学校の施策になっていました。名称も「週末課題」で同じ、考え方や運営形態も同様で複雑な気持ちでした。情報が流れたのかと。何ぶん週末課題という指導は長良高校の特許みたいなものでしたので。ただ、一つ補足すれば週末課題は授業を大切にしてこその週末課題であったと思います。

私は平成元年に病で入院し、半年間療養しました。教員退職後は、温めていたテーマがあって名古屋大大学院を受験、入学し、院生生活を送り卒業しました。

母校に勤務して

田原　英夫（12期）



私は昭和五十三年、長良高校に赴任し、体育教師として、十年間お世話になりました。当校の十二期生でもあり、陸上部に在籍していました。当時の長良高校陸上部は昭和三十二年、富山のインターハイで女子が総合優勝、翌三十三年、下関のインターハイで男子が総合優勝、全国レベルの陸上部でした。

私も数々の大会に出場することが出来、中でも、全国高校駅伝三年連続出場、一年次十位入賞、三年次十四位と活躍することが出来、充実した高校生活を送った思い出があります。

五十三年に母校へ赴任して、部活動は活発に行われていましたが、普通高校として進学体制が大きく前進する時期でもあり、補修授業も一、二年生三教科が組まれ、国公立を目指す生徒の増加で練習時間の確保、また己に挑戦しようという意欲のある生徒が少なくなったことで、以前と比べ停滞していました。

私はOBとしても、指導者としても、以前の強い陸上部に育てなくてはと使命感を抱き、部員の指導に当たりましたが、なかなか成果があがりませんでした。しかしながら、毎年十四、五名の部員の入部があり、共に頑張っていると、県下で活躍する選手も徐々に育つようになりました。

平野雄彦（ハードル）
山田紀子（長距離）
玉川勇（投擲）
棚橋弘行（走幅跳）
国島洋（投擲）
駒田朋美（投擲）
森昌希（長距離）
戸川健司（短距離）
片桐良子（短距離）
恩田智美（混成）

県下で活躍した選手です。

原稿を依頼されまして、私自身、長良高校の生徒として学び、陸上競技に一生懸命取り組んできた三年間、そして教師として素晴らしい学校に勤められた十年間が走馬灯のように思い出されます。

長良高校の発展と卒業生の皆様の健康と益々のご活躍をお祈り致します。

長良高校の思い出

森藤　恭



私が長良高校にお世話になったのは一九九七年までの十三年という長期間でした。当時私は鹿児島県との交流教員として三年間鹿児島市内の高校に勤め、ようやく岐阜県の教員に復帰したところでした。

当時はまだ天井の高い旧校舎で、岐大の教育学部と隣接しており、岐大のグランドも放課後に陸上部等が使わせてもらっていました。

早速私は二学年の担任を仰せ付かりました。丙午生まれの学年のせいか一学級少ない学年でした。それ以降十三年間毎年学級担任を担いました。その間約八年間校舎の改築が続き、プレハブ校舎での授業も経験しました。

長良高校での思い出は今思い出しても快い思い出しかありません。授業への生徒諸君の取り組みも自発的、積極的でしたし、考え方のバランスにおいても偏りのないポジティブな生徒が多かったと思います。勉学ばかりでなく、部活動や読書や行事への参加、世の動行にも前向きに眼を向け、その動きの中で将来の自分の自己実現のために努力する自発的な基本姿勢に好感が持てました。

部活動においても幸い良い先生方や同窓生の方々に助けていただき、陸上部や野球部そして柔道部の顧問をさせていただきました。特に野球部では前後八年間余り、生徒諸君と共に汗を流せたことは良い思い出です。

この間に福井雅一同窓会副会長さんや、現学校長の鈴木賢治先生とも共に、生徒諸君と夢を追いかけることができたことは幸せな思い出となっています。

又、生徒会顧問として生徒会役員の生徒諸君と共に学校祭の企画をしたり、文化祭のバンドのオーディションをしたこと等も楽しい思い出でした。

進路指導については二度目の三年学年主任の時、各教科の先生方に協力していただいて隔週の土曜日の放課後に、名古屋大学の二次用の問題を生徒の有志諸君に解いてもらい、それを各教科担当教師が添削するという試みを一学期から始めました。当初は三十名程の生徒諸君が頑張っていました。その後多少人数は減りましたが、その年数名の合格者が出たことも良い思い出です。生徒諸君の熱意と努力の賜物でした。

退職・転出・転入された教職員の方々

教職員

〈退職〉

瀧戸浩之（理科）宮城県築館高校
牛島義範（常勤講師・地公）
高橋佳與子（常勤講師・英語）

〈転出〉

錦見政哲（教頭・数学）下呂特別支援（校長）
鴨宮　慧（国語）飛騨高山（通）
岡田浩一（地公）大垣桜
棚橋徹（数学）県岐阜商
桃瀬　優（数学）大垣商
出口良成（理科）大垣南
舩越進太郎（常勤講師・理科）岐阜農林
片桐良子（英語）関
服部佐知子（家庭）岐阜城北
山北俊輔（常勤講師・保体）不破
斉藤奈央（理科助手）根尾小

〈転入〉

野々村珠樹（教頭・国語）大垣特別支援（教頭）
辻　栄一郎（地公）関
須田勇人（地公）関商工（定）
杉山博宣（数学）岐阜農林
舩戸三郎（理科）華陽F（通）
長谷川貴俊（理科）瑞浪
山口勝太（保体）中津
桑原啓優（英語）坂下
水野いつか（英語）多治見
高村靖子（家庭）華陽F（定）
山川翔子（理科助手）中津

〈新規採用〉

垂見紘汰（国語）
納土恵美香（数学）

＊以下四名常勤講師として勤務

福野衣里子（国語）
日下部成朋（英語）
廣澤香代子（英語）
横山衣里（英語）

事務職員

〈退職〉

林　節子（事務主幹）西濃子ども相談センター・再任用

〈転出〉

柴田英夫（主査）岐阜県博物館主査
前川裕美（主任）岐阜盲学校主任

〈転入〉

久保信彦（事務長）大垣桜・事務長
稲原克哉（主査）羽島北・主査
大塚香織（主任）岐阜総合学園・主任

同窓生だより

いのちに寄り添って

赤塚 庸子（36期）
（旧姓 平林）



昨年、懐かしい同級生から、久しぶりに会おうと誘いを受けました。卒業してから三十年という年月が経っても、同級生と会えばあの頃の記憶の数々が思い出されます。特に印象に残っているのは部活と三年生の時の体育祭です。私たちが三年の時に創部七年目を迎えたハンドボール部は、多くの目覚しい功績を残しているその後の後輩たちとは違い、お世辞にも強いチームとはいえませんでしたが、倉部規子先生ご指導のもと、少人数でもチーム内の結束は固かった様に思います。また、体育祭では私たち南団は競技・応援共に優勝し、応援団の打ち上げでは喜びいっぱいで盛り上がったのを覚えています。三年の秋に看護の道へと進路を定め、現在私は助産師となり病院勤務を経た後、平成の現在では数少なくなってしまった助産院を開業し、十年以上がたちました。岐阜市にある石原産婦人科の石原恒明先生に医療連携の依頼に伺った際、同窓生であることがわかり、親しみやすさと不思議なご縁を感じずにはいられませんでした。その後も医療者として信頼関係を築き続け、心強い理解者となって下さっています。母と子がいのちを懸けている誕生の瞬間に寄り添うたびに、どのいのちも幸せであれと、どうか自分を信じて人生をいきいきって欲しいと願わずにはいられません。私も同級生の子のお産に関わる様な年齢を迎え、最期の時に自分の人生も生ききったといえるような毎日を重ねていきたいと思っています。

大学生の就職事情

望月 一志（36期）



高校を卒業して工学部に進みましたが、直截的に言うと授業について行けず、就職先は人材業界を選び、これまで主に大学生の就職に関わる仕事をして参りました。

最近の就職環境としては、大手企業を中心とした業績の回復や団塊世代の退職などの影響で新卒の求人数も漸増していますが、それでも約七万人の学生が就職先が決まらず卒業している状況にあります。

その要因の一つに、企業が人材要件として重視する主体性、行動力、コミュニケーション能力などの、組織で働く上で不可欠な基礎的な力が低下していることが挙げられ、大学生のクラブ・サークルへの加入率低下が影響しているとの指摘もあります。

しかしながら、基礎的な力は大学生活で飛躍的に伸びるものではありませんので、この状況を大きく改善するためには、家庭生活や初等・中等教育全般において育成していく必要があり、その点では高校における部活動が果たす役割は極めて大きいと言えます。

長良高校におかれましては、現在でも部活の加入率が九十%を超えると聞く教育方針を大切にしていただき、変化の激しい社会にも柔軟に対応していける基礎力を身につけた人材を、これからも輩出していただければ幸いです。

また、以前は私のように学びの収穫が無い学生にも企業は寛容でしたが、今はそれが問われるようになりましたので、進学を予定する現役生のみなさんには、進学先で主体的に学業に打ち込めるよう、学ぶ目的を明確にして進路選択をしていただきたいと思います。

「大人とは萎縮した子供である」

吉川 章（36期）



我々三十六期がメインホストとなる今年の同窓会、私の高校時代の最たる悪友、山田秀孝という男が実行委員長を務めます。

腐れ縁、という言葉がありますが、彼と私の因縁こそがまさにそれ。この男のことを語ろうと思うと、頭をよぎるのは、とてもこの場で申し上げることのできない非道の行いばかり。私の結婚披露宴でこの男、パンツ一丁で手にした松明に酒を吹きかけ火を噴き、親族一同を凍りつかせました。数年後、私は彼の披露宴に女装して出席し、友人代表のスピーチで嫁に向かって「あたしの秀孝を返せ泥棒猫！」と言い放ってやりましたが。

さて、そんな彼が今年の同窓会のテーマに掲げたのは「長良高スピリットの再確認」。

人はみな、かつては十八歳だった。ふと思う。あの頃の自分の目に、今の自分はどう映るのだろう…。

「大人とは萎縮した子供である」というのは、即興演劇で有名なキース・ジョンストンの言葉。子供というのは主観でやりたいこと、正しいと思うことを正直に周りの目を気にせず、恥ずかしがらずにやってのける力がある。そう考えると、世の中で本当の意味で突き抜けた魅力的な人は、みな子供なのかもしれない。

オトナの都合や利害関係だらけの日常で、おれたちは本来あるべき姿を見失っていないか？だったら取り戻そうぜ。

私は、悪友が掲げたテーマから、勝手にそんなメッセージを受け取ったのであります。

長良高校卒業生として

津田 健介（46期）



高校時代の私はバスケットボール部に所属し、部活道に明け暮れる毎日でした。部顧問も入れ替わりの時期であり、大変なことも多かったように思いますが、そこでの苦労や培ったものは今日でも自分を助けるものになっています。またバスケットボール部出身ということで、先輩方にはとても助けられており大変ありがたく思います。毎年年明けに開かれるOB会では母校の体育館における現役とのプレーや、夜は年代を超えた交流があり、楽しく迎えることができております。年明けの忙しい時期にそのような場を準備していただき、顧問の神山先生、伊藤先生にはこの場を借りて感謝を申し上げます。（また、来年は更に多くのOBの皆様に会えることを楽しみにしております。）

私は、現在県内の高校に数学教員として勤務しており、生徒と共に学び合う毎日です。そんな毎日の中で長良高校出身であるということは、学業だけでなく部活動にも一生懸命に取り組む、そんな指導が大切という自分の中での信条を強くさせるものでもあります。昨今進学への指導が強く言われることがありますが、文武両道を実践し、多くのバランスのよい人材が成長し、巣立っていくことを望んでおります。自分も現在、数学教員として、またバスケットボール部顧問として生徒とともに文武両道を実践しようと奮闘中であります。

現在でも長良高校という存在を意識しています。

『長良高校という繋がり』

古田 拓也（56期）



長良高校を卒業して早いもので十年が経ちました。現在、私は長良に住んでおり、毎日の通勤時には多くの長良高校の生徒を見かけるので、卒業後も長良高校を身近に感じていました。

私の会社には様々な年代の、そして、それぞれ違う環境の中で育った人が集まっています。しかし、そんな中でも長良高校の出身者と出会うとやはり嬉しく思うもので、決して高校時代には顔を合わせることはなかったのですが、同じ校舎で高校生活三年間を過ごしたかと思うと妙に仲間意識が芽生えます。同級生、同期生、同窓生といった「繋がり」は会社の中であっても非常に大切なものです。

社会に出ると楽しいこともあれば嫌なこともあります。むしろ嫌なことの方が多いのではないかと思います。しかし、それも今後の皆さんにとっての財産になると思って、ひたむきに努力を続けてください。私もこのことは常に意識して、そして、時には仲間の助けも借りながら、仕事に励んでいます。皆さんもこれまでに友人、家族、先生、先輩、後輩といった周りの人々に助けてもらったことがあるのではないでしょうか？

今回の「ながれ」への寄稿を機会にますます長良高校という「繋がり」の重要性を再認識できたような気がします。そして、これから先の人生で出会った長良高校の同窓生との「繋がり」もこれまで以上に大切にしながら過ごしていきたいと思います。

「朧気なる回想」

川島　龍（6期）



一、誇り高き校歌
当代一の偉大なる歌人と作曲家に依頼された伊藤校長の偉業。詩人マメさ歌詞に感嘆しきり。「校長がわしにつくらんかと言われたが…」

二、訓話（一）川出校長「二十世紀の日本の未来は、諸君の双肩にかかっている！」理解困難な話が多かった。
訓話（二）伊藤校長「長良高校は幸か不幸か伝統がない。伝統をつくるのはこれからの君たちだ」と激励。

三、校訓　三か条あり
其三　「常に謙虚たれ」が確かにあったはず。

四、恩師と愛称
敬愛の念を込めて呼んでいた懐かしの愛称、オカグラ、タネさ、マメさ、ゲンシ、リベさ、シャッター、インチョウ、ショウボウシャ、ジュウバコ、トノサマガエル、カメレオン等々、個性豊かで人気は高く、授業はもとより、部活動、生活指導にもそれぞれ力を注がれていた。今にして思えば、新生長良高校故によき伝統の礎を築かんと、全職員一丸となって努力をされていた感がある。

五、運動部、文化部、ボクシング、相撲、登山、新舞踊、エスペラント、写真等多くの部があり、各部間の競争心も旺盛であった。
国体や全国大会出場選手も多く輩出した。速記部員の妙技に感心し、弁論部員の全校に響きわたる連日の大声
「あの芳しき菊の香りは、何によって作られたのかを思いつつ、人生の行路をば勇往邁進しようではありませんか！」に鼓舞された。

六、特技と奉仕
国体、進学の夢は叶えられ、退職後は器械体操実技指導講習会の講師として、小学校四十数校へ出向。又、非常勤講師の任命を受け高校へ三年、中学校へ四年、小学校へ八年間、七十八才まで勤務できたことは、我ながら驚きである。

長良高校近辺の昔と今

玉井　次彦（16期）



長良高校を卒業、いつの間にか五十年が経とうと…いやもう経ってしまった…。これは全くもって信じがたい出来事である。

私は入学当時、現「山県市」の奥から十数㎞、自転車で通学を始めた。当時は半分が砂利道で〝ガクラン〟が埃で真っ白に、一年生は何組だったのか？入学直後、後ろの席の女の子に「ワッチは…」と喋りかけ「この人、ワッチだって！」と廻りの女子の蔑視にあい、随分恥ずかしい思いをした。

一年二年と写真部＆サッカー部に所属したがサッカー部のタコ部屋の汗の臭いが懐かしい。運動場の配置はさほど今と変わっていない、放課後は各部入り乱れての練習、野球部が幅を利かすし、当時は東京オリンピック前。

当校から陸上部女子二人が出場決定、我々サッカー部は〝どけどけ！〟てんで〝コソコソ〟練習、当時のボールは質が悪く使い古しでボロボロ、雨の日はボールが水を吸って倍ほども重く成り果て、それをヘッディングすると頭が三日間も〝ボーン〟とうつろになった。シュートが抜けて校舎のガラスを三回ほど割った記憶だ。

今、私は長良橋近辺に住んでいて時々、長良高校脇を車で通過する。景色は基本的には変わらないが環状線や長良公園ができたりで長良高校近辺は都市化し清流・長良川、仰げば金華山は変わらず、高校としてはこれ以上ないほどの恵まれた環境となった、岐阜一番の高校を目指してほしい。

続く友情の輪

笠井　琢哉（26期）



今般、本年のメインホスト三十六期の方から『ながれ』の原稿依頼を頂いて、十年前に代表幹事として総会・懇親会をプロデュースした時の事を思い出しました。十一年ちょっと前に遡ります。高校時代は殆ど実態の無い速記（速帰）部に所属し、同期生との交流が無かった私が代表幹事など出来るのだろうか。二十五期の方々がホストとして行われた懇親会の終盤に、次年度のホストとして挨拶に立ち、威勢よく来年の懇親会への意気込みを語り、大きな風呂敷を広げたものの、実のところはどうやって四〇〇人もの同期生に働き掛け参加を募ったらいいものか、それが他の期の同窓生の人たちへの働きかけとか、懇親会の趣向等ということよりも大きな問題でした。とりあえずクラス幹事の人たちに声を掛け、実行委員会を立ち上げました。第一回の委員会は本番の前の年の十一月十四日でした。実際に委員会を始めてみると大変嬉しいことに、同級生の熱い友情で多くの仲間が集まってくれました。初めは月一、三月以降は月に二回三回と打ち合わせを重ね、会場を現在の都ホテルに変更したため、会場の下見を兼ねて一月には五十人ほどに集まってもらい同ホテルで試食会もやりました。残ってしまった食材、足らなかった食材、付け加えたい料理など参加者に満足頂けるメニューから協議していきました。実行委員会の仲間やそれ以外の協力者たちに企画やアイデアを貰い、其々の持てる力を出し合い大きな力で同期生の二〇〇名を大きく上回る参加と、その数に近い他の期の方々や恩師・来賓の方々に参加頂いて、大成功の会を開催することが出来ました。長良高校の友情・団結する力にとても感動をしました。今思い出しても胸が熱くなります。クラスメイトの鈴木君が校長を務めていることもあり、また、高校の近くに住んでいることもあり、在校生の様子には関心を持っています。学校の前を通るとその活躍が大きな幕で掲示してあり、それを見ると「おお頑張ってるな」と誇らしく思います。きっと今も友情と団結の長良高校なんだろうなと思っています。そしてこれがこの先もずっと続いていくことを切に願います。

朝、八時過ぎ長良橋通り一本東の旧道を通ると高校生の自転車列に出くわす。学生服、セーラー服はほぼ長良高校生、彼らが私の年齢になる頃には…彼らは、またこの界隈は一体どのように変容しているだろうか？

五十年前は長良高校生、今は同窓会関東支部事務局長

伊藤　ひろ子（19期）
（旧姓　倉橋）

私の主人は、関東支部の支部長です。長良高校の同級生同士で結婚したためなのか、今は関東支部の事務局長をしています。半世紀を経て遠く関東の地でまた長良高校とのご縁が出来ました。

関東エリアには沢山の同窓生が生活をされておまらないという意見が出されました。同窓会を行わない年に有志役員が少人数で顔合わせを行うのであれば、いっそのこと毎年同窓会を行ったらどうかということになりました。このことは、今年の同窓会に諮って決定したいと思っています。同窓会の場所は、中央区銀座の「吉乃翔」（中央区銀座6-2-1　DAIWA銀座ビル地下2階　TEL03-3572-5222）を予定しています。多くの方のご参加をお待ちしてします。

り、関東支部の名簿に登載されている方の数は約九〇〇人です。そのうち関東支部の同窓会に出席される方は、一割以下の七～八十人程度です。

「もっともっと多くの方に出席いただきたい」これが事務局の願いです。

そこで、今年十一月二十三日に行う同窓会は、気楽に楽しく交流を深めて頂きたく、次のような計画を企画中です。

①出席し易くするために、会費のハードルを低くする。

②形式的な集まりではなく有意義に楽しんで頂くために、懇親会の時間を長く確保し、自己PRや趣味のことなどを披露したり告知が出来るようにする。そのため、披露したいことや伝えたいことを事前に事務局に届けてもらう。

③長良や岐阜の特産品を取り寄せし、懐かしい味を楽しむ…etc　とにかく、みなさんと共に楽しいひとときを過ごすため、企画しております。皆様からも、ぜひアイデアを頂きたいと思います。

つきましては、関東近辺にお住まいの同窓生や友人の方を、出来るだけお誘いいただき、にぎやかな楽しい会にしたいと切に思っております。



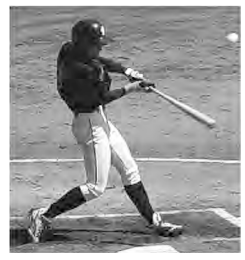
関東支部の未来！

関東支部長　伊藤　照夫（19期）

今年の関東支部は、十一月二十三日（火・祝）に二年振りの同窓会（総会・懇親会）を行います。今年は、歓談できる時間を三時間以上と長く取り、旧交を温め交流を深められるように計画しました。そして、参加し易いように会費も出来るだけ安くしたいと思っています。昨年十一月に開いた役員会で隔年開催では物足りない、交流が深

『開拓者魂』

岐阜大学2年
吉村 将成（65期）



長良高校を卒業してからもう一年が経ちました。私の高校時代の思い出は、ひたすら野球と勉強に打ち込んだことでした。野球部では本当に素晴らしい仲間に恵まれましたが、残念ながら納得のいく結果を残すことができませんでした。しかし、最後の夏の大会では同期の仲間が授業日にもかかわらず応援に駆け付けようとしてくれました。今でも部活動については様々なことに関して後悔しているので、後輩の皆様には後悔のないよう日々の練習に打ち込んで頂きたいです。勉強は、先生に本当によくしていただきました。そんな先生方の期待を裏切らないため、勉強は学校の授業と休み時間に集中して取り組みました。

さて、私の目標は「長良高校で」甲子園に行くことです。県岐商ではなく長良で行くことに意味があるのです。良い指導者になるためにはまず選手として自己を研讃せねばなりません。高校時代の後悔もあり、大学の野球部では、二十八期の福井監督のもとプレーを続けています。今季は強豪の私大相手に一勝もできませんでした。しかし、一年生ながらフル出場することができました。長良で甲子園に行くことに意味があるように、私大に設備で劣る岐阜大学で勝つことに意味があります。そこで勝つために頑張っていきたいと考えています。大学生活を一年間送って、長良高校で学んだことが大きな自信となっています。在校生のみなさんも、文武両道を成し遂げることが今後の自信につながることと思います。

第5回長良高校コーラス部同窓会のご案内

下記のとおりコーラス部同窓会の懇親会を開催します。
案内状が届いたら良いご返事をください!

日時／平成27年5月31日(日) 午前11:30より
場所／ホテルグランヴェール岐山 TEL.263-7111
会費／5,000円(欠席者は寄付金を)

※高牧康さん(29期)のアンサンブルグループの演奏披露
＊連絡先 コーラス部同窓会長 浅野晃一郎 090-5620-0124

今年も現役コーラス部が6月27日（土）に岐阜市文化センターにて午後2時より、第26回定期演奏会を開催します。同窓会の皆様のご支援、ご協力、応援をお願いします。

部活動OB会

残心会 五十周年記念に向けて

残心会（剣道部OB会）
纐纈 俊秀（28期）

『長良高校剣道部が、近々五十年を迎えるので、五十周年記念をせにゃならん…』と、一昨年の正月恒例の残心会稽古（例年、正月に開催している稽古会）の折に村瀬隆平先生からお話を頂き、「はい、分かりました!」と快諾したのは良いのですが、さて何から始めれば良いのやら…。

私一人ではとても手に負える訳もないですから、兎も角相談できるメンバーを募りましょう。と、些か剣道を通じて交流のあるOB・OGの方々に連絡を取り、「残心会五十周年記念準備委員会」と銘打って、昨年から半年に一回のペースで、OB・OGの皆様に連絡を広げて、記念式典の日取りや内容のアイデア出しを行ってきました。

これ迄は、村瀬先生を交えて二十名ほどの集まりで大まかな事柄を相談してきましたが、今後は更にメンバーを募り、記念式典の成功を期したいと考えておりますので、長良高校剣道部のOB・OGの皆様のご協力をお願いしたいと考えております。まだ先の事ですし、十分に練れた訳ではありませんが、

◎記念式典の日取りは、二〇一八年九月八日を第一候補として進める。
（五十期が卒業した年）
◎同時開催が可能かどうかは未定ですが、OB・OG・在校生を交えた東西対抗戦を開催したい。

まだまだ未定なことが多いのですが、本年度の後半からは顧問の先生毎での集まりを、メンバーの代表にお願いしております。

これを期に、旧交を深めて頂くと共に五十年におよぶ世代間の親交も温めて頂きたく、是非ご参加願いたくお願い申し上げます。

私に連絡して頂ければ、メンバー代表を紹介しますので、宜しくお願い致します。

携帯090-8327-7739
E-mail:t4.kouketsu@gmail.com



ブラスと共に!

吹奏楽部OB会長
清水 憲明（16期）



昭和三十七年四月、入学すると同時にブラスバンド部に入部した私は、古びたアルトを手に新入生にも拘らず、新入生歓迎会の演奏に加わっていました。全員が男子のブラスバンド部は、まるで体育会系の部活のようで、三年生は「神様」のような存在でした。普段の練習は、教室の机と椅子を隅に片付けることから始まり、手にする楽器のどれもが古い日管製で、個人所有は殆ど無かったと記憶しています。演奏活動は学校行事の運動会、卒業式、夏の高校野球の開会式と応援、依頼演奏では、花いっぱい運動の市中パレード等が思い出されますが、昭和天皇ご来岐に際し、菊の御紋の御召列車の岐阜駅到着に合わせ、駅構内で「君が代」を演奏したことは忘れられない思い出です。確か授業を免除されて出かけました。三年次には、吹奏楽コンクールに挑戦し、恩田先生の指揮により見事岐阜県代表となり、東海大会に出場を果たしました。初めて耳にする愛知東邦高校のサウンドや使用している楽器の違いに驚くことしきり。吹奏楽部は今、多くの部員が所属し、当時と比べるとうらやましい限りです。三年生が春の定演で休部すると聞いていますが、上達した三年生には、せめて夏のコンクールまでは続けてほしいですね。昭和四十二年、外川先輩のご尽力で岐阜県初の一般バンドとして、長良高校OB吹奏楽団が誕生、県の芸術祭等で活躍する等、演奏活動を続け、現在は、長良シンフォニックバンドと改称し、OB以外にも門戸を拡げ、岐阜の文化団体として幅広い活動を継続しています。私もメンバーのひとりとして毎週末の練習に参加しております。高校時代に吹奏楽に出会い、生涯の趣味を得られたことに感謝しております。OBの皆さん!長良シンフォニックで一緒に音楽を楽しみませんか?

平成２６年度　部活動実績一覧

（団体：県大会ベスト8以上　個人：6位以上）
（平成26年4月～27年1月）

祝

第98回日本陸上選手権大会 女子100m 出場
全国高校総体 女子バドミントン（個人） 出場
全国高校総体 陸上競技 男子110mH 女子100m 400mR 出場
全国高校総合文化祭 文芸部（俳句）出場
全国高校総合文化祭 放送部 アナウンス部門 出場
第61回NHK杯全国高校放送コンテスト 出場
全日本ユース陸上選手権 男子110mH 第2位 女子100m 出場

《運　動　系》

【陸上競技】

◆県高校総体	男子	8種競技	第4位
		110mH	第3位
		走高跳	第5位
		5000m競歩	第3位
		400mR	第2位
		1600mR	第3位
	女子	100m	優　勝
			第5位
		200m	優　勝
			第5位
女子総合3位		7種競技	第4位
		砲丸投	第6位
		やり投	第6位
		400mR	優　勝
		1600mR	第3位
●東海高校総体	男子	110mH	第4位
		100m	優　勝
	女子	7種競技	第8位
		400mR	第3位
★日本選手権	女子	100m	出　場
●東海選手権	男子	110mH	出　場
		200m	出　場
	女子	100m	出　場
		400mR	出　場
		砲丸投	出　場
★全国高校総体	男子	110mH	出　場
	女子	100m	出　場
		400mR	出　場
★日本ユース陸上選手権	男子	110mH	第2位
	女子	100m	出　場
★国民体育大会	女子	400mR	第5位
◆県高校新人	男子	110mH	第2位
		800m	第5位
		400mR	第5位
		1600mR	第4位
	女子	100m	優　勝
		200m	第2位
		5000mW	第6位
		砲丸投	第3位
		400mR	第5位
●東海新人	男子	110mH	第2位
	女子	100m	第3位
★全日本ジュニア室内選手権	男子	60mH	優　勝
	女子	60m	出　場

【サッカー】

◆県高校選手権	ベスト8
◆県高校新人	第2位

【バスケットボール男子】

◆県高校総体			ベスト8
◆県高校新人			第５位

【バスケットボール女子】

◆県高校総体			第6位
◆県高校選抜			第8位
◆県高校新人			第2位

【バドミントン】

◆県高校総体	女子	団体	第3位
		シングル	第2位
★全国高校総体	女子	シングル	出　場
●国体東海ブロック	女子	シングル	出　場
◆県高校生大会（1年生の部）	女子	ダブルス	優　勝

【卓球】

◆県高校総体	女子	団体	第3位
●東海高校総体	女子	団体	出　場
◆県高校新人	女子	団体	第3位
●東海高校新人	女子	団体	出　場
◆全国高校選抜大会県予選	女子	個人	第3位
●東海選手権	女子	ジュニアダブルス	3　組
		ジュニアシングルス	4　名

【ハンドボール男子】

◆県高校総体			ベスト8
◆県選手権			ベスト8

【ハンドボール女子】

◆県選手権			第3位
◆県高校総体			ベスト8
●国体東海ブロック			1人出場

【ソフトテニス男子】

●東海高校総体		個人	出　場

【ソフトテニス女子】

●東海高校総体		個人	出　場

【剣道】

◆県高校総体	男子	個人	第5位
		個人	第5位
		団体	第3位
●東海高校総体	男子	個人（2人）	出　場
		団体	出　場
◆県選手権	男子	個人	第3位
◆県高校新人	男子	個人	第3位
◆全国高校選抜大会県予選	男子・女子	団体	ベスト8
●東海高校選抜	男子・女子	団体	出　場

【柔道】

◆県高校総体		個人	第3位

【バレーボール女子】

◆県高校総体			ベスト8
◆スプリングチャレンジカップ			第2位
◆全国選手権大会県予選			ベスト8
●東海高校選抜			出　場

【バスケットボール男子】

◆県高校新人			第3位
●東海高校新人			出　場

【水泳】

◆県高校総体	男子	100mバタフライ	第8位
		200mバタフライ	第8位
		200m自由形	第7位
		400m自由形	第8位
		400mメドレーリレー	第7位
		800m自由形リレー	第7位
	女子	100m平泳ぎ	第6位
		100mバタフライ	第6位
		200m自由形	第4位
		400m自由形	第8位
		100m平泳ぎ	第8位
		200m個人メドレー	第8位
		100m背泳ぎ	第7位
		400mメドレーリレー	第7位
		400m自由形リレー	第7位
●東海高校総体			出　場

《文　化　系》

【放送】

◆県高校放送コンテスト	アナウンス部門		第3位
	アナウンス部門		第4位
	アナウンス部門		第5位
★NHK杯全国高校放送コンテスト	アナウンス部門		3人出場
★全国高校総合文化祭	アナウンス部門		1人出場
◆県高校文化祭新人	アナウンス部門		第1位
	朗読部門		第2位

【書道】

◆県美術展	書の部		優秀賞
	書の部		入選3人

【美術】

◆県美術展	デザイン部門		優秀賞
	デザイン部門		入選2人
◆県高校文化祭	デザイン部門		優秀賞3人

【写真・科学】

◆県美術展	写真部門		入選
◆県児童・生徒科学作品展	自然科学		最優秀賞
★日本学生科学賞			出展
◆県自然科学系部活動研究発表会			優秀賞
◆県総合文化祭	写真部門		激励賞2人

【文芸】

★全国総合文化祭	俳句部門		1人出場

【コーラス】

◆県合唱コンクール			金賞
●中部合唱コンクール			出場

★全国大会　●東海大会　◆県大会

『憧れの舞台、インターハイ』



関西学院大学1年
蘭　沙也可（66期）

私は高校三年間バドミントン部の一員として、全国大会で勝つことを目標に練習してきました。

その中でも最も印象に残っているのはインターハイに出場したことです。高校一年生、二年生の時は出場を逃しているので、三年生で出場を決めた時は舞い上がるほど感激しました。憧れの舞台に立てることの喜びを感じ、さらに上を目指していこうと強く思いました。

大会当日は会場の雰囲気や周りの選手に圧倒され、とても緊張しました。結果は満足のいくものではありませんでした。しかし、私はこのインターハイを通して二つのことを学びました。

一つ目は自分がどれほどたくさんの人に支えられているのかを知ったことです。大会出場にあたり、多くの先生方や友達から激励の言葉をいただきました。また家族は毎日の食事や身体のケアに気を遣ってくれました。これらのサポートがなかったら、私は憧れの舞台に立つことはできなかったと思います。よりいっそう感謝の気持ちを持つことができました。

二つ目は今後もバドミントンを継続し、上を目指したいと思えたことです。私はインターハイで勝つことができずに、悔しい思いをしました。しかしそれは、今後勝負の世界で生き抜いていこうとする原動力になりました。

高校三年間を通して得た経験や、周りへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも目標に向かって進んでいきたいと思います。

昨年度 総会・懇親会
「支えていただいた全ての方々に感謝」

昨年度実行委員長　足立　道泰（35期）



昨年、私たちは、三十年ぶりに出会う三十五期実行委員会メンバーとかけがえのない一年を過ごすことができました。

「誇りと絆を永遠に！」のスローガンのもと、長良高校の卒業生で良かったと思っていただけるよう一年をかけて、準備を進めてまいりました。実行委員会では大きく動員と企画とに分担をしましたが、動員では、総勢五三三名と昨年に引き続き五〇〇名以上の方々に参加していただき、三十五期もメンバーの粘り強い努力により一九三名に参加していただくことができました。

また企画では、オープニング映像から始まり、長良高校の卒業生として活躍されている方々のビデオレター、三十五期メンバーによるお土産の配布、そして、最後に三十五期メンバーで応援団を結成し、応援団パフォーマンスの披露と、私たち長良高校卒業生の誇りを抱き、そして、この同窓会によって絆が更に深まっていくような企画を行ってきました。同窓会が終わったあとの達成感は何事にも代えがたく、三十五期実行委員会メンバーとは本当に素晴らしい瞬間を過ごすことができました。これもひとえに、この運営に対しさまざまな視点でアドバイスをいただいた諸先輩方のご支援の賜物です。本当にありがとうございました。